

# 街路樹が危ない!!

～六甲アイランドに大発生するホシベニカミキリ～

神戸市立六甲アイランド高等学校

総合科学系 10班

## 動機

私は2年前に六甲アイランド内で「ホシベニカミキリ」を発見した。瀬戸内沿岸地域ではあまり見かけないとされてきた種類の昆虫である。しかし、いま六甲アイランドの島内で大発生をしている。「ホシベニカミキリ」は、ある街路樹を食樹としている。何故、大発生したのか、調査結果を基に、その原因と今後の調査研究方針について考察を行った。

## ホシベニカミキリとは

- ・タブノキ、クスノキなどを食害する公園害虫
- ・体長は18～25mm
- ・5月～8月に発生する。
- ・赤色地に黒い斑点が特徴でとても色鮮やか
- ・タブノキの新芽に擬態している



タブノキの新芽に擬態しているホシベニカミキリ↑



ホシベニカミキリ↑

## 考察

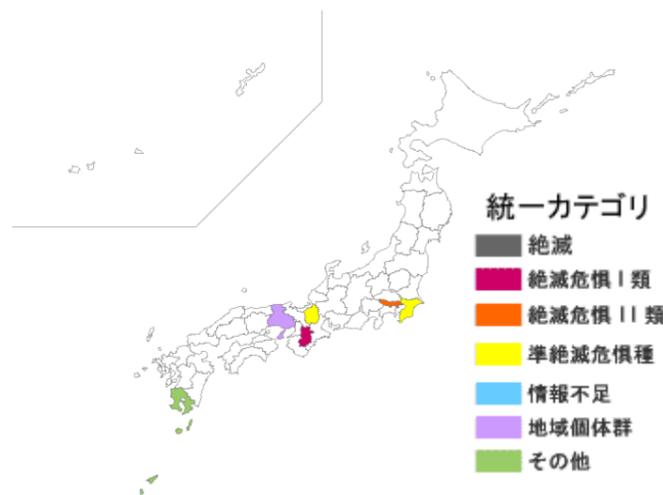
タブノキは瀬戸内沿岸では生育しにくいのでホシベニカミキリは、瀬戸内沿岸では発生しにくいと考えられる。しかし、六甲アイランドに大量発生している。街路樹として植えたタブノキに最初から寄生していたホシベニカミキリが大量発生したものだと考えられる。六甲アイランドには天敵が少ない、または全くいないのかもしれないのではないかと考えられる。

このままでは・・・

六甲アイランドのタブノキは食べつくされてしまうのではないだろうか。

## タブノキとは

- ・クスノキ科タブノキ属の常緑高木
- ・潮風に強く沿岸で生息している
- ・瀬戸内では生育しにくい
- ・新芽が赤くて色鮮やか↓



COPYRIGHT 2006 野生生物調査協会&EnVision環境保全事務所 All right Reserved

## これから調べたいこと

- ・1本の木に平均どれくらいのホシベニカミキリがついているか
- ・神戸市の他の地区にもホシベニカミキリは発生しているか
- ・あと何年で大発生が止まるのか？現在のまま食害されたとしてシミュレートすること
- ・タブノキはどこから来たのか
- ・天敵は本当に少ないのか
- ・今後の対策として何ができるか

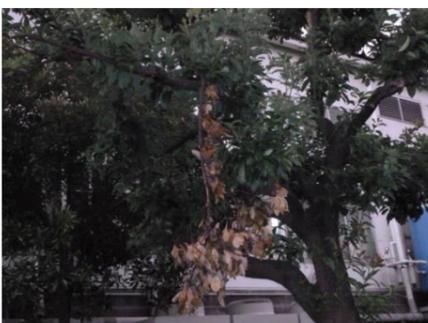
## 現在わかっていること

- ・六甲アイランドには約310本のタブノキが生えている
- ・シティヒルより内側には70本のタブノキが生えておりそのうち56本が食害されている
- ・幼虫が入り込んだ脱出孔のある枝は枯れてしまい、葉が生えていない
- ・2010年6月6日の調査では1日で124個体が確認された
- ・枯らされた部分をきれいに切り取るという被害対策をとっている木もある
- ・特に被害が大きなイーストコート7番街は特に対策をしていない
- ・日に当たっている時間が長い場所に生えているタブノキほどよく食害されている

## 参考文献

ひとくはく連携活動グループテネラルより  
六甲アイランドに植林されたタブノキを激しく食害するホシベニカミキリ 2010年度共生のひろばでの発表原稿より

枯れてしまった枝↓



枯れた幹を切ったタブノキ↓



産卵するホシベニカミキリ↓



産卵痕から出る樹液を舐めるカナブン

